

# 特定非営利活動法人 ACE

## 2014 年度 事業・決算報告

[報告期間：2014 年 9 月 1 日～2015 年 8 月 31 日]



## 【2014年度の総括と全体評価】

### < 外部環境 >

「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に「2025年までに児童労働を終わらせる」と明記

2015年に期限を迎える国連ミレニアム開発目標（MDGs）は世界の開発課題の解決方法を指し示すものであったが、児童労働は目標・ターゲットには入っておらず、グローバルな開発課題としての共通理解や取組を進める上で課題となっていた。2015年9月に国連総会で採択され、2016年1月から発効する「持続可能な開発のための2030アジェンダ」（通称「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals:SDGs）」は、17の目標と169のターゲットで構成され、目標8「持続的、包括的で持続可能な経済成長及び完全に生産的な雇用とディーセント・ワークの促進」のひとつのターゲットとして、「強制労働、現代の奴隷、人身取引を撤廃するための即時の効果的な措置をとり、子ども兵士の採用と使用を含む最悪の形態の児童労働の禁止及び撤廃を確保し、また2025年までにすべての形態の児童労働を終焉させる。」と明記された(ACE 仮訳)。グローバルな世界共通の課題として児童労働問題が認識されたという意味で大きな前進となった。2014年10月にノーベル平和賞が発表され、ACE とつながりの深いカイラシュ・サティヤルティ氏（児童労働に反対するグローバルマーチ創設者）が受賞したことも含め、世界の児童労働の認識を高め、行動を促すための条件が整ってきた。

### 急激な円安と支援地の物価上昇

2014年末に急激な円安となり、年度当初に設定していたドル＝円為替レートを上回ったため、スマイル・ガーナプロジェクト、ピース・インドプロジェクト共にパートナー団体にプロジェクト費の削減を依頼、車両購入を延期するなどの措置をとった。またガーナの物価上昇率が10%を上回る中、プロジェクトを予算内で実施することが出来た。今後も為替の影響を受けることが予想されるため、可能な限りの対策をとる必要がある。

### 「エシカル」の浸透と企業の社会的責任

ACEでは中期戦略に「エシカルな消費とビジネスの促進」を掲げているが、エシカルという言葉が徐々に浸透しはじめている。日本エシカル推進協議会の発足や、「倫理的消費」調査研究会が消費者庁で発足するなど、世の中の動きも活発になってきた。企業の非財務情報の開示も国際的には議論が高まっており、企業のビジネスが社会経済環境に与えるインパクトの情報開示の流れの中、児童労働を含むサプライチェーンの人権課題が企業の社会的責任、リスク、サステナビリティに関連していることが認識されつつある。

### < 内部環境 >

#### スマイル・ガーナ プロジェクト、ピース・インド プロジェクトの成果の継続

急激な円安などの外部環境の変化にも関わらず、現地プロジェクトは着実に成果をあげ、児童労働から子どもたちを直接救うことに成功している。寄付額も伸び、構成比が全体収入の58%から65%に増加し、現地プロジェクト実施を支えた。

#### 「学習する組織」への変化と新たな人員体制

代表・事務局長の出産・育児休暇、職員1名の退職が期中にあったにも関わらず、事業が大きな滞りなく実施され、収入も前年度を1,300万円上回ることができた。期中に行った5回の「学習する組織」

職員研修がチームビルディングに、支援者との関係構築がファンドレイズにつながり、それらが功を奏した。期中に新たに4名のスタッフを雇用、広報・ファンドレイジングマネージャーを採用するなど、人員体制の移行もスムーズに行えた。

## 残る課題：マンスリーサポーター増加と安定的・継続的な資金の開拓

安定的・継続的な資金の開拓はまだ途上である。マンスリーサポーターの増加は目標200名だったが結果はその半数にとどまった。これは依然として課題のままである。一方で、クラウドファンディング（インターネットを活用した寄付等）の成功や、大口寄付の獲得などにより目標を上回る寄付を獲得することができた。また、職員1名の退職に伴い、児童労働ネットワークの事務局運営を業務委託として請け負う契約に切り替え、担当職員の人件費をカバー出来るようになったことで、ネットワーク運営の財政的負担が軽減した。

## 全体評価

評価項目 (評価項目の説明)	評価内容	5段階 評価
目標達成度 (目標値や実績をはかる指標がどの程度達成できたか。)	子ども支援事業におけるガーナとインドの両プロジェクトで合計462人の子どもの児童労働から守り就学を実現した。2015年9月に国連総会で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」に「2025年までに児童労働を終焉させる」との文言が入ることが確定的になり、アドボカシー目標を達成できた。また企業との連携によるACE支援地の原料を使った商品の販売においては、国際フェアトレードラベルのついた森永ミルクチョコレートが通年販売となり、エシカルなビジネス・消費推進を前進させることができた。	4
計画実施度 (計画通り実施できたか。計画の立て方に問題はなかったか。)	子ども支援の2プロジェクトは急激な円安の影響で予算削減等の協力をパートナー団体に要請し、プロジェクトの一部変更を行ったものの、成果を出すことができた。代表岩附、事務局長白木が同年度にそれぞれ出産・育児休暇を取得、職員の退職などの変化にも関わらず、新しい職員を含め新体制で事業実施をほぼ滞りなくできた。一方で、実施スケジュールの遅れや工数の見積もりの甘さ、また資金調達のマンスリーサポーター獲得は目標未達成が続いており、計画性の向上の余地はまだある。	3
発展効果度 (将来的な発展や他事業への波及効果はどの程度であったか。)	ACE設立のきっかけを作ったカイラシュ・サティヤルティ氏が2014年10月にノーベル平和賞を受賞したことで、ACEにも新聞等の取材を多数受け児童労働問題への意識を高める契機となった。認定NPO法人の期限切れを迎える前に東京都に申請をし、無事に期限を切らすことなく認定資格を継続できた。	4
予算達成度・効率性 (収入、支出、収支の達成度合い。無駄なく効率的に予算を活用できたか。)	全体収支の予算は収入が98%、支出が97%の達成率で、正味財産増減額は124%の達成率となり、全体として好調。未達は助成金(51%、△450万)、会費(80%、△91万)であった。前年度と比較し、収入は120%、1367万円増加し、支出は117%、1139万円の増加となった。前年度と伸び率が高いのは寄付金(1157万円増、129%)、事業収入(425万円増、123%)となった。	4
総合評価 (今年度の活動によって、団体の目的にどれだけ近付けたか。)	2013-2016の中期戦略2年目として、インド、ガーナ、日本で堅調な事業運営を行うことが出来た。法人・個人の継続・新規の支援に支えられ、寄付金も増えているが、マンスリーサポーターの新規支援者獲得は200人の目標を達成できず、3か年の目標700人の達成が難しくなった。	4

評価について:

達成度合いを5段階で評価(5:120%~101%、4:100%~81%、3:80%~61%、2:60%~41%、1:40%以下)。

総合評価は事業によって各項目の重みが違うこともあるため、他の評価項目の平均ではない。

## ACE 中期戦略 2013-2016 目標と進捗状況

3年後に目指す 状態(目標)	戦略	3年後にめざす成果、具体的目標/数値目標 ⇒今年の進捗
<p>【1】 児童労働から抜けだし、適切な教育の機会を得て、権利を回復する子どもが増えている。</p>	<p>【1】 児童労働から子どもを救出する“ACEモデル”プロジェクトを拡大し、教育を受けられる子どもを増やす</p>	<p>スマイル・ガーナプロジェクト:4村 [2013年当初目標を下方修正] 児童労働をやめて教育を受ける子ども 150人 ⇒190人 教育支援する学齢期の子ども 1,833人 ⇒1770人</p> <hr/> <p>ピース・インドプロジェクト:3村 児童労働をやめて教育を受ける子ども 236人 ⇒272人 教育支援する学齢期の子ども 1,724人 ⇒1,615人</p>
<p>【2】 子どもの権利への意識が高まり、児童労働等の権利侵害から子どもを守る運動が国内外に広がっている。</p>	<p>【2】 児童労働問題の重大性・緊急性への理解を市民～国際レベルで高める</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童労働が重大な子どもの権利侵害で、持続可能な社会の発展を阻害する課題であることが認識され、世論が形成される</li> <li>・児童労働が地球規模課題のひとつとして援助実施団体(国際機関、政府、NGOなど)に認知されている</li> <li>・全国区の新聞、テレビで児童労働に関する記事や番組が報道される: 毎年2件以上 ⇒<b>全国メディアで計15件(その他を含むと61件)</b></li> <li>・ACEの支援プロジェクトが日本モデルとして海外でも認知される ⇒<b>進展は特になし。</b></li> <li>・ポストMDGsの達成目標に児童労働の撤廃が盛り込まれる ⇒<b>持続可能な開発目標(SDGs)の8.7に「2025年までにあらゆる形態の児童労働を終焉させる」と明記</b></li> </ul>
<p>【3】 児童労働の解決のための選択肢として、フェアトレードやエシカル消費、ACE支援への認知が高まり、支持する市民の行動が広がる</p>	<p>【3】 児童労働を撤廃・予防するビジネスを浸透させ、それを支持する消費者を増やす</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代の消費者層である子ども、若者世代を中心に、フェアトレード等の認知が高まる</li> <li>・講師派遣参加者数 5,000人 ⇒6,128人(78件)</li> <li>・キャンペーン参加者数 1,500人 ⇒5,779人(児童労働ネットワークのレッドカードアクション)、署名 523,935筆(児童労働ネットワーク)</li> <li>・映画動員数 10,000人 ⇒2014年9月～2015年2月までで469人(13か所)</li> </ul>

<p><b>【4】</b> 児童労働がないことをめざしたエシカルなビジネスを実践する企業が増えている</p>	<p><b>【4】</b> 児童労働を撤廃・予防するビジネスを浸透させ、それを支持する消費者を増やす</p>	<p>・支援地区で採れたカカオを使った商品が継続して製造・販売され、商品アイテムが増える。 ⇒2014年1月にACE支援地産カカオを使用した国際フェアトレード認証ラベルつきチョコレートが森永製菓より発売開始、初めて通年販売となった。</p> <p>・支援地産カカオを使ったフェアトレードチョコレートが、コンビニやスーパーで通年で販売される ⇒上記商品が全国的にスーパー等で販売されたほか、お客様の声から、ファミリーマートでの取り扱いが開始されるなど、進展があった。</p> <p>支援地のコットンを使った製品が完成し、販売を開始する。百貨店など買い物しやすい場所での販売が決まる ⇒支援地のコットンの輸入にとどまった。製品完成は次年度へ持ち越し。</p> <p>児童労働を予防するサプライチェーンを確立する企業が増える(5社、特にカカオ、コットン業界) ⇒進展なし</p> <p>児童労働や人権が、企業にとって重要なイシューであるとの認識が広がる ⇒国連グローバルコンパクト、コー円卓会議などの場で対話の機会を得た。</p>
<p><b>【5】</b>人的・財政的支援が集まり市民からの信頼を得て、社会的責任を果たしながら成果を上げている。</p>	<p><b>【5】</b>児童労働がない社会を支持するコミュニティを創る</p>	<p>組織を支える支援者が増える・マンスリーサポーター700人(2016年8月) ⇒マンスリーサポーター419人(2015年8月)</p> <p>海外プロジェクトや事業を支える財源が増える ・寄付収入 6,200万円/年(2016年8月時点) ⇒5,137万円 ・事業収入 4,200万円/年(2016年8月時点) ⇒2,216万円</p> <p>・ACEの活動を支援する個人・地域グループ・支援者グループが増え、広がっている:20カ所、ボランティア500人 ⇒5グループが現在活動中(学生団体PeACE、社会人チーム、名古屋、福岡、仙台)その他大阪等でも地域の協力者を得てイベント出展、ボランティア人数約500人</p> <p>・優秀なスタッフが集まり、継続して能力を発揮している。 ⇒新規採用4人(うち3名はパートタイム)、退職1人、出産・育児休暇取得2人</p>

# 1. 子ども支援事業

[担当：成田、近藤、田柳]

事業の目的：児童労働から抜け出し、適切な教育の機会を得て権利を回復する子どもを増やす

## (1) 年度方針

- ① ガーナ、インドで新たに「スマイル・ガーナ プロジェクト」、「ピース・インド プロジェクト」を実施する村で、プロジェクトへの理解を広め、村の住民、リーダーや行政機関等による協力体制をつくる。
- ② 昨年度プロジェクト実施期間が終了した両プロジェクトの村でフォローアップを行い、支援が終了した後も住民が主体的に子どもの就学徹底と児童労働のない村づくりに取りくんでいけるようにする。
- ③ 現地での活動の成果や意義をより広く知らせるため、国内での他事業と連動しながら、積極的に情報発信をする。

## (2) 主な成果

プロジェクト	村の数	児童労働をやめて就学した子どもの数(累計)	就学率(就学している子どもの数/村の就学年齢の子どもの数)
スマイル・ガーナ(継続)	4 村	未確認(2009 年～)	未確認( /2,151 人)
スマイル・ガーナ(新規)	4 村	190 人(2014 年～)	96%(1770 人/1833 人)
ピース・インド(継続)	1 村	7 人(261 人:2010～2014 年)	98%(525 人/534 人)
ピース・インド(新規)	2 村	252 人(252 人:2014 年～)	91%(1080 人/1190 人)

## (3) 活動報告

### ① スマイル・ガーナ プロジェクト(継続)

活動地域	ガーナ アシヤンティ州アチュマ・ンブニュー郡4村(カロンゴ、ジュレソ、ンスオテム、タノドゥマセ)
実施期間	2014 年 9 月～2016 年 8 月(予定)
主な受益者	学齢期の子ども約 3,200 人、約 2,600 世帯、人口約 7,600 人
活動内容	子どもの保護と就学の徹底、親や住民への意識啓発、子どもの教育環境と教育の質の改善、カカオ農家を含む住民の収入向上と相互扶助制度の構築、行政機関との連携強化

- ・ 4 村の児童労働者の合計人数は、当初想定していた 120 人を超える 201 人と判明し、そのうち活動開始後 1 年間で 190 人の子どもを児童労働から救出し、学校に再入学させることができた。残りの 1 年間ですべての子どもを児童労働から引き離す見通しが立った。
- ・ 困窮した家庭の子ども 59 人に学用品を支給した。
- ・ カロンゴ村、ジュレソ村では、新たに教員住宅の建設が決まり、作業が進んでいる。またカカオ農家への農業トレーニング(ファーマービジネススクール)で使用するモデルファームが設置された。
- ・ クラウドファンディング(READYFOR?)達成を受け、活動地域で健康診断と健康ワークショップを行った。また診療所がない 2 村(カロンゴ、ンスオテム)に救急箱を贈呈した。
- ・ 活動期間を終了した 4 村(クワバナ・アクワ、アナンス、ウルベグ、パソロ)では、自ら制定した地域条例に基づき、子ども保護委員会、子ども権利クラブ、PTA・学校運営委員会が機能していることが確認された。

- ・ 昨年の急激な円安の影響により、一部の活動(教員トレーニング、マスメディア向けのアドボカシー活動、人身取引の被害を受けた子どもの出身地モニタリング等)が延期となった。
- ・ 他方、車両の不調と円安の影響による予算削減の為、フォローアップ 4 村については十分なデータ(児童数、就学率等)を確認できなかったため、次年度の課題として持ちこされた。
- ・ 現地モニタリングは 2014年 10 月、2015年 6 月に実施。

② ピース・インド フォローアップ(継続)

活動地域	インド テランガナ州(前アンドラ・プラデシュ州)マハブナガル県 1 村(ナガルドーディ村)
実施期間	2014 年 7 月～2015 年 6 月
主な受益者	学齢期の子ども約 530 人、約 430 世帯、人口約 2,000 人
活動内容	住民グループを中心にした児童労働の見回り活動・家庭訪問等による子どもの就学徹底、女子の職業訓練、貧困家庭の雇用・収入向上支援、行政との連携

- ・ 2010 年から 2014 年まで 4 年間プロジェクトを実施したナガルドーディ村で、住民が活動を引継げるよう 1 年間のフォローアップを行った。住民グループが中心となって児童労働や児童婚など子どもの問題解決や就学の徹底に取り組み、定期会合を行っている。住民グループは公式な団体登録を行い、行政制度の普及など村全体の生活環境の改善にも取り組むようになり、周辺・新規支援地域でも住民による活動ノウハウの周知活動を行うようになった。
- ・ 子どもの就学状況は改善し、中途退学者が減り、初等教育学校だけでなく中等・高等学校へ進学する子どもが増加した。中途退学をして就学できない子どもがまだ数名いるため、住民とともにフォローし、児童労働のない村の実現を目指す。
- ・ 女子の職業訓練による自立支援や貧困家庭の親の収入向上支援の効果が徐々に表れてきており、仕事や家計が安定化してきている家庭が増えた。また親がさらなる収入向上の努力を試み、家庭環境の改善や子どもの教育へのサポートを実現していることが確認できた。
- ・ 2014 年 10～11 月、2015 年 3 月、6～7 月の年 3 回、現地モニタリング実施(新規 2 村も同様)。
- ・ 現地訪問の時期に合わせてウェブ更新、ドナーへの報告等を行い、プロジェクトの成果・進捗を報告した(新規 2 村も同様)。

③ ピース・インド プロジェクト(新規)

活動地域	インド テランガナ州(前アンドラ・プラデシュ州)マハブナガル県 2 村(マッデラバンダ村、タティクンタ村)
実施期間	2014 年 4 月～2018 年 3 月(予定)
主な受益者	学齢期の子ども約 1,190 人、約 1,640 世帯、人口約 7,600 人
活動内容	親や住民の意識啓発のための集会・イベント開催、家庭訪問やブリッジスクールによる子どもの就学徹底、学校との連携による教育環境の改善、子ども・住民のグループづくり

- ・ コットン栽培などでの労働をやめて教育を受けられるようになった子どものうち、141 名がプロジェクトで運営するブリッジスクールや職業訓練センターに通えるようになり、また 111 名が政府による公立学校や寄宿学校へ就学したことを確認した。児童労働による子ども・家庭・地域への悪影響や教育の重要性について住民の意識が徐々に高まり、新たに設置された住民グループや子どもグループによる就学の呼びかけなどの活動が行われるようになった結果と思われる。

- 公立学校の改善は、新しい州政府の政策・予算の手続きの遅れや教員不足、集落へのアクセスが悪い等の影響により十分進んでいないため今後取りくんでいく。両親がいない・ひとり親家庭・親が十分働けないといった困窮家庭の子どもが、就学できず働いているケースが多くみられるため、行政制度の活用を含めた支援を検討していく。今後は職業訓練センターの設置、貧困家庭の親の収入向上支援、行政との連携強化などに取り組み、住民の自立に向けた支援を行う。

#### ④ 東日本大震災復興支援

活動地域	宮城県亶理郡山元町
実施期間	2014年9月～2015年8月
主な受益者	0-11歳の子ども約950人とその親約450人、小中学校生徒約920人、仮設住宅入居者1,900人、人口約13,600人
活動内容	映画上映会やワークショップ等イベントの開催または町のイベント参加による子どもの権利に関する意識啓発、市民団体による子育て支援の活動拠点の設備・備品整備支援等

- 2014年9月、山元町で、子育て支援団体「夢ふうせん」および「なかよし会」の活動施設、また南保育所でリミック教室を開催した。合計約66名の子ども・親・協力者・スタッフ等が参加した。子ども同士のコミュニケーションによる社会性の育成や、親子の愛着関係を深めることを助け、親がその方法を学べる機会となった。また今後の活動について確認し、助成金情報を随時提供した。
- 山元町訪問時、生涯学習課、社会福祉協議会、復興応援センター等の関係者と面会し、今後の復興計画や子どもに関する施設建設の目途等の聞き取りを行った。
- 復興支援としての活動は、2014年度で終了するが、今後も関係維持のため随時情報交換を行う。
- また復興支援グッズの販売など通じて支援していく。

#### ⑤ その他

- スタッフの増員・能力強化  
新規採用した職員1名を事業担当者として育成するため、プロジェクト実施管理のための研修受講、現地モニタリング同行によるスタッフ同士のノウハウ共有を行い実施体制の強化に取り組んだ。
- 国際協力事業ガイドラインの改訂、事業評価マニュアルの作成  
「国際協力事業ガイドライン」の改訂、事業評価マニュアルの作成作業を進めたが、年度内に完了しなかったため、翌年度に引き続き作業を行い完了させる。
- ネットワーク活動  
東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)、なくそう！子どもの貧困全国ネットワークへの参加を通じて、東日本大震災における被災者への支援活動や日本の子どもの貧困対策に関する情報把握を行った。



## (4) 活動評価

評価項目 (評価項目の説明)	評価内容	5段階 評価
目標達成度 (目標値や実績をはかる指標がどの程度達成できたか。)	<p>&lt;スマイル・ガーナ プロジェクト&gt; 今年度活動を開始した新規 4 村では、190 人の子どもが労働をやめ、学校に通うようになった。学校インフラは、2 村で教員住宅が増築され、1 村で中学校新設が決定した。また農業トレーニングは、モデル農場設置など新たな取り組みも見られ、進展がみられた。</p> <p>&lt;ピース・インド プロジェクト&gt; フォローアップを行った 1 村では、期間内に児童労働を完全になくせなかったが、住民による児童労働のない村づくりの体制ができた。活動を開始した新規 2 村では、想定以上の子どもを労働から守ることができた。</p>	4
計画実施度 (計画通り実施できたか。計画の立て方に問題はなかったか。)	<p>&lt;スマイル・ガーナ プロジェクト&gt; 予算抑制の為、教員トレーニングとマスメディアを通じたアドボカシー活動が見合わせとなった。また今年度活動期間を終了した 4 村のフォローアップについては、十分にできなかった。</p> <p>&lt;ピース・インド プロジェクト&gt; フォローアップは計画通り実施。新規 2 村は、円安の影響により、活動・予算を削減し計画を一部変更しなければならなかった。また一部の活動が予定より遅れたが、行った活動による成果は着実に出ている。</p>	3
発展効果度 (将来的な発展や他事業への波及効果はどの程度であったか。)	<p>&lt;スマイル・ガーナ プロジェクト&gt; 活動期間を終了した 4 村については、昨年制定された地域条例に基づき、これまで通り子ども保護委員会、子ども権利クラブ、学校運営委員会などが機能していることが確認された。また新規 4 村でも、これまでのプロジェクトの活動について共有され、子どもの権利を守るという意識が高まっている。</p> <p>&lt;ピース・インド プロジェクト&gt; フォローアップを行った 1 村は、住民による児童労働のない村づくりが進み、児童労働だけでなく村の生活環境の改善への取り組みが行われ、周辺地域への波及効果をもたらしている。日本企業によるコットン栽培技術支援も行われている。さらにコットン種子企業・NGO 等が参加して児童労働対策を協議する会議に現地パートナー団体が参加した。今後現地での提言活動の重点化とその効果も見込まれる。</p>	5
予算達成度・ 効率性 (収入、支出、収支の達成度合い。無駄なく効率的に予算を活用できたか。)	<p>&lt;スマイル・ガーナ プロジェクト&gt; 9 月以降の急激な円安の為、車両の購入をはじめ、いくつかの活動内容(教員トレーニング、アドボカシー等)が見合わせとなった。今後はこのようなリスクを常に念頭に置いて活動を計画する必要性を痛感した。</p> <p>&lt;ピース・インド プロジェクト&gt; 支援地域の拡大により、実施資金の確保が課題だったが、結果的には新たな支援があり確保できた。今後も効果的な資金調達を検討する。</p>	3
総合評価 (今年度の活動によって、事業の目的にどれだけ近付けたか。)	<p>&lt;スマイル・ガーナ プロジェクト&gt; 児童労働から救出した子どもの数、就学率などはいずれも当初の目標を上回った。また学校インフラやカカオ農家の生活向上についても、順調に目標に到達できる見込みも立った。活動期間が終了した 4 村はフォローアップが不十分だったため、次年度以降の改善が必要である。</p> <p>&lt;ピース・インド プロジェクト&gt; フォローアップでは住民の児童労働をなくす体制ができ、新規 2 村では計画した活動の遅れはあったが、実施した活動の成果は出ており、多くの子どもが児童労働から守られ、教育を受けられるようになった。</p>	4

(5 段階評価 5:120%~101%、4:100%~81%、3:80%~61%、2:60%~41%、1:40%以下)

## 2. アドボカシー事業

[担当：岩附、召田、近藤、田柳、成田]

事業の目的：児童労働が重大な子どもの権利侵害であり、持続可能な社会の発展を阻害する課題であるという世論を形成する。

### (1) 年度方針

- ① 児童労働や ACE の認知を高めるため、最近の消費者教育やフェアトレードへの関心の高まりを活かし、教材や映画『バレンタイン一揆』上映会を学校や教育機関で活用してもらえるよう積極的に働きかける。
- ② 児童労働に関する世界の最新情報を日本社会に広く周知させるため、世間の社会的な関心事と ACE の活動を関連づけて、マスメディアやオウンドメディアを通じて積極的に発信していく。
- ③ 2015 年 9 月に発表される「2015 年以降の開発アジェンダ(ポスト MDGs・SDGs)」やアフリカの開発に関連させ、児童労働撤廃の取り組みが進むよう、ネットワークや他団体との連携を通じて継続して働きかける。

### (2) 主な成果

- ① 参加型学習教材として、2015 年 1 月に「チョコっと世界をのぞいてみよう!」を、2 月に「この T シャツはどこからくるの?」を発売。「この T シャツはどこからくるの?」は、平成 26 年度「消費者教育教材資料表彰」の優秀賞に選ばれた。
- ② 2014 年にノーベル平和賞を受賞されたカイラシュ・サティヤルティ氏に関連したニュースを中心に、ACE の活動や取り組みが 61 件メディアで報じられた。(P.28 メディア掲載実績参照)ウェブサイトの年間アクセス数は、過去最多の 24 万ユニークユーザーを達成。
- ③ 児童労働ネットワーク(CL-Net)を通じて児童労働への取り組み強化を日本政府へ求める署名活動を実施し、2015 年は過去最多の 52 万 3,935 筆を集めた。また、2014 年に集まった署名は、「児童労働に反対するグローバルマーチ」のカイラシュ・サティヤルティ氏を通じ、2015 年 1 月にバン・キムン国連事務総長に提出された。2015 年 9 月に採択される「持続可能な開発目標(SDGs)」に「2025 年までにすべての児童労働を終わらせる」という文言が入ることがほぼ確定した。

### (3) 活動報告

- ① 講師派遣  
79 件、6,168 人を対象に講演を実施。消費者教育がテーマの講師派遣の依頼が増え、東京、埼玉、栃木、静岡、宮城、北海道などで教員向け研修や消費者教育講座を行った。(P.24 講師派遣実績参照)
- ② 児童労働を伝える映画、教材、書籍等の普及  
参加型学習教材を2種類発売。「この T シャツはどこからくるの?」は、平成 26 年度「消費者教育教材資料表彰」の優秀賞に選ばれた。事務局長 白木朋子・著『子どもたちにしあわせを運ぶチョコレート。』も 2015 年 2 月に出版された。
- ③ キャンペーン、ネットワークを通じたアドボカシー  
児童労働ネットワーク、および「ストップ! 児童労働キャンペーン 2015」を通じて、レッドカードアクションや

署名活動を実施。レッドカードアクションは5,779人が参加、署名は過去最多の約52万筆の署名が集まる。また、アフリカのNGOグループやアフリカ連合との連携強化のため、市民ネットワーク for TICAD (Afri-Can)の世話人として、カメルーン・ヤウンデでの「第5回アフリカ開発会議フォローアップ閣僚会議」やエチオピア・アジズアベバでの「第3回開発資金国際会議」に近藤が出席した。

④ マスメディアや各種媒体を通じた情報発信

カイラシュ・サティヤルティ氏のノーベル平和賞受賞が発表された当日、新聞やテレビから多数の取材があり、カイラシュ氏とACEとのつながりや受賞を祝うコメントなどが掲載された。その他、森永製菓とACEとの協働やエシカルファッションカレッジに関するニュースなど、合計61件のメディア掲載があった。

⑤ インターネットを通じた情報発信(ウェブサイト、メールマガジン、SNSなど)

ウェブサイトの年間アクセス数は、過去最多の24万ユニークユーザーを達成(2013年度同期間:22万ユニークユーザー)。ACEのFacebookページは4,823いいね!を達成(年初から1152増)。

⑥ 調査研究・政策提言

児童労働ネットワークや「児童労働に反対するグローバルマーチ」などを通じて、政策提言活動を行った結果、持続可能な開発目標に関するオープン・ワーキング・グループにて児童労働についても議論され、2015年9月に国連総会で採択される「持続可能な開発目標(SDGs)」の目標に「2025年までにすべての形態の児童労働を終焉させる」という文言が入ることがほぼ確定した。

⑦ コットン生産地域の持続的な環境改善に向けた啓発・提言活動(地球環境基金助成事業)

2015年7月に、消費者教育として教材「このTシャツはどこからくるの?」の授業での利用を広めることを目的に、教員向けセミナーを開催した。遠くは広島や石川、八丈島などからの関心の高い教員の参加があった。

⑧ ネットワークを通じた活動

各ネットワークにおいて国際会議の参加、イベント企画・運営、アドボカシー活動などを行った。

- ・児童労働ネットワーク(運営委員・事務局)
- ・チョコレート・アライアンス(コアメンバー)
- ・市民ネットワーク for TICAD (Afri-Can) (世話人)
- ・社会的責任に関する円卓会議(運営委員)
- ・児童労働に反対するグローバルマーチ(ナショナルコーディネーター)
- ・JANIC 広報ワーキンググループ(コアメンバー)
- ・開発教育協会(DEAR)(会員、評議員)
- ・動く・動かす(会員)
- ・教育協力NGOネットワーク(JNNE)

#### (4)活動評価

評価項目 (評価項目の説明)	評価内容	5段階 評価
目標達成度	メディア掲載件数が 61 件、カイラシュ氏のノーベル平和賞受賞を中心に、全国メディアでも合計 15 件報道され、毎年全国メディアで 2 件という目標を大きく上回った。講師派遣を 79 件、6,168 人に直接話す機会を得た。児童労働ネットワークの署名活動も過去最高筆数を更新。	5
計画実施度	2 種類の教材作成時期が重なり、予定していた発売日には間に合わなかったが、年度内に2つとも完成し、販売を開始することができた。計画していた映画『バレンタイン一揆』の DVD 化は実施できず、次年度への持ち越しとなった。	3
発展効果度	教材が完成し、今後も継続して教材注文や講師派遣が見込まれる。消費者教育という観点からの依頼が増え、ACE が開発した教材・ワークショップが「エシカル消費」推進のためのツールとして認知されはじめている。	4
予算達成度・ 効率性	事業収入は 149%を達成。児童労働ネットワークの事務局委託費が増えたこと、教材販売が予算比 176% (233 万円)、講師派遣が 122% (261 万円)などが大きく貢献。地球環境基金の助成金をコットン関連のアドボカシー活動に関して獲得、3 年間の継続が見込まれるため、今後の活動にも貢献。	5
総合評価	想定以上の時間がかかったものの、2つの教材が完成し売れ行きが好調。児童労働を終焉させることがグローバルな目標として持続可能な開発目標に盛り込まれ、ACE 設立のきっかけとなったカイラシュ氏がノーベル平和賞受賞するなど、世間の関心を集める要素が増えた。これらの世間の関心と、ACE の活動を結びつけ方が今後の課題。	4

(5段階評価 5:120%~101%、4:100%~81%、3:80%~61%、2:60%~41%、1:40%以下)

## 3. 啓発・市民参加事業 [担当：岩附、山下、青井]

事業の目的：児童労働問題を知った個人・組織が、児童労働をなくすアクションの担い手になるように働きかけ、ACE の活動を支える支援者を増やす

### (1) 年度方針

- ① 「そのこ」の未来キャンペーンの実施を通じて、児童労働についての啓発とアクションへの参加の機会を増やす。
- ② マンスリーサポーター等の継続的な支援者やアクションの担い手を増やすために、イベント開催や出展、グッズ販売等の機会を効果的に活用する。
- ③ グッズ販売については、企業・労働組合に働きかけ、販売機会の提供や大口・組織単位の購入増加をめざす。

### (2) 主な成果

- ① 「しあわせを運ぶ てんとう虫チョコ」等のグッズの認知・活用の輪が広がり、企業・労働組合等の組織単位の購入を増やすことができた。「てんとう虫チョコ」は、歌手の氷室京介氏より注文を受け、ファンクラブ向けのホワイトデーのプレゼントとして、包装・発送業務を委託している岩手県陸前高田市の社会福祉法人燦燦会(あすなろホーム)より、オリジナルパッケージで全国に届けられた。
- ② 既存支援者の協力を得て、トークセミナーを複数回開催。ゲストと共に「児童労働のない未来」の実現に向けたメッセージを発信することができた。イベントを通じて、これまで ACE と関わりを持ったことがなかった参加者との接点を作ったり、イベント後に参加者から次のステップとして具体的な協働の提案を受けたりと、「社会をよくしたいと思う人が集いつながる場」としてのイベントの可能性と役割を再認識することができた。

### (3) 活動報告

- ① 主催イベントの開催  
活動報告会や新作ワークショップ・書籍のお披露目イベント、またゲストを迎えてのトークセミナーを通じて、児童労働の現状や ACE の取り組みを伝え、児童労働をなくすアクションへの参加を呼びかけた。  
トークセミナーでは、スピーカーとして ACE の評議員や会員・寄付等の支援者、協働企業等からゲストを迎え、ゲストと一緒に「児童労働のない未来」の実現にむけたメッセージを発信した。

#### 【主な主催イベント】

- 10月18日：トークイベント「あなたの一歩で世界は変わる～明日からできる『社会を変えるお金の使い方』～」(東京・SHIBAURA HOUSE) \* SHIBAURA HOUSE 2014 年度フレンドシッププログラムの一環として開催
- 11月22日：ワークショップ&現地プロジェクト報告会「わたし13歳、コットン畑で働きつづけて」(東京・ゼンセン会館)(総会と同時開催)

- 2月 7日:ワークショップ&出版記念講演「子どもたちにしあわせを運ぶチョコレート～世界から児童労働をなくす方法」(SHIBAURA HOUSE) \* SHIBAURA HOUSE 2014 年度フレンドシッププログラムの一環として開催
- 4月 22日:チャリティセミナー『これからの私たち』「アバンティ渡邊社長にきく!『私』を生きるヒント」(日比谷図書館)
- 6月 12日:児童労働反対世界デートークイベント「児童労働のない未来をつくろう会議」(HUB TOKYO)
- 6月 14日:児童労働反対世界デー記念セミナー「児童労働撤廃に向けた『政治的意志』をつくるには?」(連帯社会研究交流センター)
- 6月 25日:ライフネット生命保険 出口 治明氏トークセミナー「人・本・旅から学んだもの～出口治明的教養の身に着け方～」(グロービス経営大学院 東京校)

## ② グッズ販売を通じた啓発、参加促進

「しあわせを運ぶ てんとう虫チョコ」(10月～4月)等の寄付つきグッズや、東日本大震災応援商品などを販売。商品を通じて ACE の取り組みを伝え、購入を通じた活動への参加を呼びかけた。

- ・ チョコレート(10月～4月)  
「てんとう虫チョコ」の袋詰めと発送は、今シーズンも岩手県陸前高田市の社会福祉法人燦燦会(あすなろホーム)に委託した。昨年に引き続き、恵比寿三越の催事「FOR YOU 特別なアナタに贈るギフト by ethicaloop」にも出店し、「てんとう虫チョコ」や「PeopleTree フェアトレードチョコレート」、「森永チョコレート<1チョコ for 1スマイル>」(支援地で栽培されたカカオを使用)等を販売。チョコレートと児童労働のつながりや ACE の活動を伝えた。
- ・ 「ピース・インド プロジェクト」関連商品  
スケジュールの遅れにより、年度内に商品を完成させることはできなかったが、支援地産コットンを使ったタオルハンカチの販売に向け、準備を進めている。
- ・ その他商品  
東日本大震災の被災地である宮城県亘理郡山元町で作られた商品の販売を継続。著名人の影響と、さらに口コミで購入の輪が広がり、売上を伸ばすことができた。また、購入者の声に応え、食品を中心に新たなフェアトレード商品の取り扱いも開始した。

## ③ イベント出展、ボランティア活動の推進

- ・ 地域グループや地方在住の支援者の協力を得て、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡の国際協力関連イベントに出展。各地で ACE の認知度を高め、児童労働や ACE の取り組みについて伝えることができた。
- ・ 「グローバルフェスタ 2014」の展示ブースでは、昨年に続き、高島屋労働組合よりボランティアを受け入れた。悪天候により、2日目は半日みの開催となってしまったが、ACE への共感と児童労働の理解を深める機会となった。
- ・ 「しあわせを運ぶ てんとう虫チョコ」の包装や報告書発送等のボランティアを通じて、個人や組織単位での参加機会を提供することができた。チョコ包装ボランティアは、事務所での開催に加え、企業に出向いて開催した。ボランティアがきっかけとなって購入につながったり、昼休みの時間に活動紹介とボランティア活動をセットで行うなど、活動への参加をうながすことができた。

## 【主な出展イベント】

仙 台:せんだい地球フェスタ(8月3日、仙台国際センター)

東 京:グローバルフェスタ JAPAN(10月4-5日、日比谷公園)

          メーデー中央大会(4月29日、代々木公園)

名古屋:ワールド・コラボ・フェスタ(10月25-26日、オアシス 21「銀河の広場」)

福 岡:地球市民どんたく(11月15-16日、アクロス福岡)

## ④ 児童労働をなくすアクションの担い手を増やすための活動

- ・ 会員・マンスリーサポーター、支援者の獲得

講演やイベント参加、グッズ購入、ボランティア参加等の各種活動やメディア掲載などを通じて、ACEの活動や児童労働問題を知り、関心を持った個人や組織が、継続してACEの活動に参加し、支援者になるよう働きかけた。また、バレンタインにあわせてクラウドファンディングサイト「Readyfor?」を通じて、「ガーナ カカオ生産地の人々のため、健康診断と健康 WS を開催したい!」プロジェクトを行い、目標を超える2,438,000円の支援を集めることができた。

- ・ 「そのこ」の未来キャンペーン

昨年につづき、6月12日の「児童労働反対世界デー」にあわせて、谷川俊太郎さんの詩「そのこ」を通じて、問題を伝え、「児童労働のない未来」を実現するための活動資金を集めるキャンペーンを実施した。特に既存支援者からの協力を得て、2015年8月8日までに約760万円の寄付を集めることができた。キャンペーンは、当初の予定を延長し、9月末日まで実施した。

- ・ BAG TO THE FUTURE キャンペーン

古本、CD・DVD や、ブランド品、商品券等の物品提供を通じた寄付のプログラムを継続。当初リニューアルを予定していたが、実施することができなかった。

## ⑤ ネットワーク活動

- ・ NGO-労働組合国際協働フォーラム(合同企画委員・児童労働グループ 事務局)

合同企画委員として全体運営への参画に加え、7月開催のシンポジウムに向けて、シンポジウムタスクメンバーとして、企画・運営にも携わった。また、フォーラムの課題別グループ「児童労働グループ」の事務局として、他のNGOや労働組合と連携し、展示ツールの制作や、「連合3.8国際女性デー中央集会」に合わせた啓発カフェの開催(母子保健グループと共催)、メーデー等イベントへの出展等を行った。

#### (4)活動評価

評価項目 (評価項目の説明)	評価内容	5段階 評価
目標達成度	マンスリーサポーター、一時寄付(クラウドファンディング)、イベント参加、物品購入など多様な参加方法の提示を継続して行うことができた。新たな試みとしてトークセミナーを開催したが、目標としていた支援者獲得にはいたらなかった。児童労働反対世界デーにかけて行った「そのこ」の未来キャンペーンは、寄付金額では昨年度を上回ったものの、参加人数の広がりは限定的となった。	3
計画実施度	イベント実施などは予定外のものも柔軟に対応したが、計画通りのスケジュールで実施出来なかった項目もあった。計画性の向上、人員体制の確保、活動の優先順位付けなど、期待している効果を得るために改善できる点はまだある。	2
発展効果度	グッズ販売については、著名人のファンクラブ向けの特別仕様てんとう虫チョコを納品するなど、新しい形態の協力が出来た。関係構築がされている法人からの注文や、講演を聞いた方が大口支援者になるなど、これまでの活動による共感が、ACEからの機会提案によって実際にアクション(物品購入や寄付)へと結びついた事例があった。	4
予算達成度・ 効率性	事業全体では101%、グッズ販売収入が100%。てんとう虫チョコの法人の大口注文が貢献した。マンスリーサポーターについては目標人数に対し50%にとどまり、予算も達成できなかった。	4
総合評価	既存支援者の協力を得て、様々な形で児童労働の問題を伝え、アクションを促す機会を作ることができた。そこから、実際にアクションする仲間を増やすことができるよう、しくみや仕掛けを検討していきたい。	3

(5段階評価 5:120%~101%、4:100%~81%、3:80%~61%、2:60%~41%、1:40%以下)



# 4. ソーシャルビジネス推進事業

[担当：白木、成田、岩附]

事業の目的：児童労働のない、持続可能な社会のためのビジネスの在り方と企業の行動を促進する

## (1) 年度方針

- ① ACE 支援地域のカカオ、コットンを使った商品の製品化を企業との協働の実績を作りながら、アパレル業界及びチョコレート・カカオ業界へのインパクトを強める。これにより、児童労働のないエシカルビジネスを行う業界のステークホルダー・プラットフォームの構築につなげていく。
- ② 「子どもの権利とビジネス」、「ビジネスと人権」をテーマとしたメッセージ発信を強化し、アパレル業界及びチョコレート・カカオ業界以外においても、児童労働、子どもの権利に本業で取り組む企業を増やすことをめざす。

## (2) 主な成果

- ① ACE 支援地域のカカオを使ったチョコレートが森永製菓、ショコラティエパレオドールから販売され、企業との協働によりエシカルなチョコレートの選択肢を広げることができた。
- ② 「ピース・インド プロジェクト」地を訪ねるスタディーツアーを行い、その参加者の ACE へのエンゲージメントを高めることができた。また、一部の参加者はそのビジネスにおいても ACE との連携、インドのオーガニックコットンの推進を行うことになり、エシカルなビジネスを進めることができた。

## (3) 活動報告

- ① ACE 支援地の原材料を使用したビジネスモデルの構築、業界・関係者への普及
  - ・ 「スマイル・ガーナ プロジェクト」実施地域で栽培されたカカオを使ったフェアトレードチョコレートが 2014 年 1 月に森永製菓より販売された。この国際フェアトレード認証チョコレート「森永チョコレート <1 チョコ for 1スマイル>」は通年販売となり、全国のスーパーで取り扱われるなど、昨年度の期間限定商品と比べて通年で入手可能な商品となった。
  - ・ ショコラティエパレオドールの三枝俊介シェフが ACE 支援地区で採れたカカオを使ったチョコレート商品を発売した。
  - ・ フェアトレードチョコレート等を扱う企業との対話を行い理解を促進した。
  - ・ 「ピース・インド プロジェクト」実施地域で栽培されたコットンを使った製品の商品化については、2015 年 8 月時点で現地のコットンを日本に輸入する段階に留まり、商品化、販売、ビジネスモデルの構築は次年度に継続して行うこととなった。
- ② 「インド・コットンスタディーツアー」の実施  
コットン・ファッション関連企業、児童労働問題やエシカルビジネスに関心を持つ企業を対象に、インドのコットン生産地域を視察するツアーを実施し、下記の成果を達成した。  
日程:2014 年 10 月 26 日-11 月 1 日(5 泊 7 日)  
対象:コットン・ファッション関連企業、児童労働問題やエシカルビジネスに関心を持つ企業  
参加者人数:8 名

- ・ インドのコットン生産地域でACEが実施するプロジェクト地域を訪問し、コットン栽培および児童労働の現状や改善策について参加者の理解を深めることができた。
- ・ 企業との協働プロジェクトによるACE支援地でのオーガニックコットン栽培支援の現状や、インドにおけるエシカルなコットン生産に取り組む企業について理解を深めることができた。
- ・ ツアー参加者が、インドのオーガニックコットン企業との取引を検討したり、ACE支援地で女性自立を支援するビジネスを計画するなど、参加企業によるエシカルなビジネス実現に向けた進展があった。

### ③ エシカルファッションカレッジの実施

2014年に引き続き、「エシカルファッションカレッジ」を開催した。世界フェアトレード・デーとも連携し、5月9-10日(土・日)の2日間、1500人の来場者を得た。主催は「エシカルファッションカレッジ実行委員会」となり、リー・ジャパン株式会社含む前年度の主な企画協力団体と共に実施した。ACEは事務局を務め、会計、広報などを担当した。当日は「このTシャツはどこからくるの？」ワークショップや、映画「バレンタイン一揆」上映の他、ボランティアスタッフのコーディネーション等全体統括を担当した。

### ④ 企業を対象とした講師派遣、ステークホルダーエンゲージメントの推進

- ・ 企業のビジネスと児童労働に関する理解を深めるため、企業やCSRに関するテーマの講師派遣を11件行った。
- ・ 企業のCSRに関する原稿執筆(『季刊労働法』への寄稿含む)2件を行った。
- ・ 企業のサステナビリティレポートへのコメント1件が掲載された。

### ⑤ CSRコンサルティング等の企業向けサービス実施

アパレル企業のサプライヤーのCSRレビューを実施する予定だったが、調整がつかず、人員体制の課題もあり実施を見送った。新規の依頼はなかった。

### ⑥ ネットワーク活動、その他

各ネットワークの活動に適宜参加し、情報収集や交換を行った。

- ・ NGOと企業の連携推進ネットワーク(2014年12月までコアメンバー)
- ・ CSRレビューフォーラム(レビューアー)
- ・ 社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク(会員)
- ・ CSRを応援するNPO・市民ネットワーク(メンバー)
- ・ 日本エシカル推進協議会(設立発起人)
- ・ 社会的責任に関する円卓会議(運営委員)

#### (4)活動評価

評価項目 (評価項目の説明)	評価内容	5段階 評価
目標達成度	森永製菓から ACE 支援地のカカオを使った新商品が発売され、かつ通年販売となったことはエシカルな消費をチョコレートから進めていく上で重要な進展。「ピース・インド プロジェクト」実施地でのコットンを使った商品化については、現地で種の配布とオーガニックコットンの栽培技術指導が始まり、収穫できた。	4
計画実施度	予定していたアパレルメーカーの国内のサプライチェーンの監査の実施が調整がつかず未実施。スタディーツアー、エシカルファッションカレッジ等の重要な活動は予定通り実施することが出来た。	3
発展効果度	カカオからチョコレートへ加工するメーカーや、オーガニックコットンを取り扱う企業が ACE の法人会員として新たに入会するなど、新規の法人会員が増えた。	4
予算達成度・ 効率性	アパレルメーカーの CSR レビューの未実施や、講師派遣の金額・件数が目標達成しなかったことで、収入が 86%にとどまった。	4
総合評価	支援地カカオやコットンのビジネスモデル確立がまだ途上であり、「子どもの権利とビジネス」「ビジネスと人権」等も情報収集を行うにとどまった。人員体制の制約があり積極的な展開ができていない。	3

(5段階評価 5:120%～101%、4:100%～81%、3:80%～61%、2:60%～41%、1:40%以下)

# 5. 組織運営

[担当：岩附、白木、坂口、山下]

事業の目的：各事業が円滑に行えるよう、人的、財政的基盤の強化を図り、管理する。

## (1) 年度方針

- ① 事業の実施と組織運営が円滑に行えるよう、会員やマンスリーサポーター、寄付者への対応を強化し、継続率を高めることで、財政基盤の強化につなげる。
- ② 残業の削減やワークライフバランスの改善、柔軟な働き方のシステムの構築など、安心して働きやすい環境づくりに取り組む

## (2) 主な成果

- ① カイラシュ氏のノーベル平和賞受賞に合わせたマンスリーサポーターの新規獲得キャンペーンや、クラウドファンディング、チャリティセミナー、「そのこ」の未来キャンペーン等を実施し、資金調達に力を入れて、寄付収入が予算を達成し財政基盤の強化につながった。
- ② 「学習する組織」の研修を5回にわたり職員全員で受け、コミュニケーション力が向上し、相互理解が深まり、良いチームワークができた。代表と事務局長がそれぞれ産前産後休暇と育児休暇を取得、職員1名退職、それに伴い職員1名、パート職員3名を採用。人員体制や業務分担が大きく変わる年度となったが、大きな支障がでることなく年度末を迎えられた。
- ③ 東京都の認定NPOを取得し、またアカウントビリティ・セルフチェック2012を実施した。信頼性の向上につなげ、寄付者へのメリットも維持することができた。

## (3) 活動報告

### ① 会議等の業務

#### 1-1 通常総会の開催

日時:2014年11月22日(土) 会場:UA ゼンセン 2階 大会議室  
(議題) 1. 2013年度(後期)事業報告(案)・決算(案)について  
2. 2014年度役員、評議員の選任について  
3. 2013～2016年 中期戦略について  
4. 2014年度事業・予算計画について

#### 1-2 理事会の開催

ACE会議室にて、理事会を開催し、財政状況を含む組織運営について協議、決定した。  
開催日:10月5日、11月9日、12月20日、3月1日、4月25日、8月29日

#### 1-3 評議員会の開催

日時:2015年3月21日(土) 会場:ACE事務所  
今年度中間報告、来年度計画案を報告し、参加の評議員よりアドバイスを受けた。

### ② 会員、サポーター、支援者業務

- 各事業、及びキャンペーン等を通じて、新しい支援者層の拡大、獲得に取り組んだ。  
マンスリーサポーター:419人(新規81人、退会19人)、個人会員:計228人(新規13人、退会12人)、法人・団体会員:24企業・団体(新規3社・1団体、退会1社)
- 会員継続に関する連絡は5月と8月に行った。

### ③ 資金調達、管理

事業実施や組織運営に必要な資金を確保するため、各種助成金等の申請や報告に関わる業務、寄付の呼びかけを行った。資金の動きについて適切に管理し、常時必要な対策をとれるよう定期的にファンドレイズミーティングを開催した。

- 助成金:11件、大口寄付:個人10件、企業・団体11件 クラウドファンディング202万円獲得
- 「そのこ」の未来キャンペーン企画、実施

### ④ 団体広報活動

- 年次報告書と活動レポートを5月に発行し、支援者に送付。
- 事務局長 白木朋子・著『子どもたちにしあわせを運ぶチョコレート。』が2015年2月14日に出版された。

### ⑤ 経理、人事・労務、総務に関わる業務

#### 5-1 経理業務

- 日常的な現預金の動きについて記録、管理し、資金の動きを明確にしている。
- 法人税や消費税等の税務関連の業務を行い、10月末までに税務署への申告を完了した。

#### 5-2 人事、労務業務

- 代表、事務局長の産前産後休暇・育児休暇取得、職員1名退職。職員1名、パート職員3名採用。
- ライフステージの変化に合わせて柔軟な働き方ができるようサーバーのクラウド化を進めている。

#### 5-3 総務業務

- 東京都、国税庁、法務局へ11月に事業報告を行った。
- 認定NPO取得に関する現地調査を11月19日に受け、1月19日に東京都より「認定特定非営利活動法人」として認定を受け、信頼性の向上につなげた。
- アカウントビリティ・セルフチェック(ASC)を4月6日に実施。インターンのガイドライン作成や、秘密保持の研修については来年度に持ち越す。

### ⑥ 組織強化、職員の能力強化

- 「学習する組織」の研修を5回にわたり実施。コミュニケーション能力の向上や、職員同士のニーズを把握してお互いの理解を深めた。また個人レベルと組織レベル両方の「ありたい姿」を明文化した。
- 4月2～3日に戦略合宿を行い、今後の方向性や来年度の各事業の方針を確認した。
- 職員とインターンが参加する学びの場として「ACEカタリバ」を7月より開始。支援地のガーナやインドの活動の共有を行った。今後も隔月で実施していく。
- インターンを13名採用し、活動の担い手を育成した。(うち9名終了)

### ⑦ ネットワーク活動

- ・ 国際協力 NGO センター (JANIC) の理事と、日本 NPO センターの評議員を務め、NGO・NPO 界での最新動向を把握し、事業や組織運営に活かした。(2015 年 6 月まで)
- ・ セールスフォース ユーザ会を通じ、支援者管理(顧客管理システム)に関する課題や解決法を他企業や NPO から学び、組織内での運用管理に役立てた。

#### (4) 活動評価

評価項目 (評価項目の説明)	評価内容	5 段階 評価
目標達成度	既存の支援者との関係維持に努め、継続して支援を受けることができた。マンスリーサポーターの継続率は 94.7%であった。残業時間は 2013 年度に比較し全体として 290 時間増加した。認定 NPO 申請、教材製作、退職による引き継ぎなどの業務による一時的な影響もあるものの、改善の必要がある。このため事業に関わる人件費が予算比 117%となった。しかし管理部門の人件費が予算を下回ったため(白木の育児休暇分)全体としてはほぼ予算通りとなった。会費と助成金収入が大きく目標を下回ったが、全体の収入の 90%を占める寄付収入と事業収入が予算を達成した。	4
計画実施度	代表、事務局長が同年度内に産休・育休を取得することの組織運営への影響が危惧されたが、大きな支障なく組織部門、事業部門とも運営が出来た。職員 1 名の退職があったが、新規職員 4 名(内フルタイムは 1 名)、インターン 13 名の参画、それ以外の職員の経験年数も長くなってきており、互いにサポートしあい事業運営が滞りなく行われた。	5
発展効果度	学習する組織の研修を実施。コミュニケーション力や、働き方を含めた個々のニーズを把握し、スタッフ同士を理解する貴重な時間になった。また、個人や組織レベルの「ありたい姿」を明確にできた。この研修にはワークライフバランス推進の助成金を活用することができた。エクセレント NPO 大賞への応募、ASC2012 の実施などを通じ、現状の組織の課題を見直したことも、改善への取り組みへの良い契機となった。	5
予算達成度・ 効率性	一部予算を超えた管理費の支出があったため、コスト意識を持ち、来年度は予算内に抑えたい。	3
総合評価	寄付収入や事業収入による財政的基盤の強化に努めたことや、人員の補充、研修によるコミュニケーション力の向上など人的基盤の強化にも努めた。また認定 NPO 取得や、アカウントビリティ・セルフチェックも実施し、信頼性の向上も実現した。	4

(5 段階評価 5:120%~101%、4:100%~81%、3:80%~61%、2:60%~41%、1:40%以下)

<2014年度 役員> ※【】内は役職、()内は、役所届出上の姓

理事 岩附(尾上) 由香 【代表】  
理事 小林 裕 【副代表】  
理事 白木(馬場) 朋子 【事務局長】  
理事 安永 貴夫  
理事 新谷 大輔  
監事 矢崎 芽生  
監事 大石 貴子

<2014年度 評議員>

秋山 訓子 朝日新聞記者  
生駒 芳子 株式会社アートダイナミクス 代表取締役社長  
江森 孝至 連合総研 主任研究員  
小城 武彦 職業経営者  
奥津 雷三 会社員  
黒田 かをり 一般財団法人 CSO ネットワーク 事務局長・理事  
郷野 晶子 UA ゼンセン 国際局 局長  
坂本 文武 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 特任准教授  
桜田 高明 連合国際顧問・ILO(国際労働機関)理事  
鈴木 宏二 団体職員  
藪田 綾子 株式会社クレアン 代表取締役  
長坂 寿久 元拓殖大学教授  
並河 進 株式会社電通 ソーシャル・デザイン・エンジン部 部長  
萩原 なつ子 立教大学社会学部 教授、認定NPO 法人日本NPOセンター 副代表理事  
長谷川 真一 日本ILO協議会 専務理事  
初岡 昌一郎 姫路獨協大学 名誉教授  
樋栄 ひかる Ena Communication Inc. 代表取締役  
古谷 由紀子 サステナビリティ消費者会議 代表  
堀内 光子 文京学院大学大学院 特別招聘教授  
公益財団法人アジア女性交流研究フォーラム 理事長  
渡邊 智恵子 株式会社アバンティ 代表取締役  
NPO 法人日本オーガニック・コットン協会副 理事長

**2014年度 活動計算書**  
(2014年9月1日～2015年8月31日)

特定非営利活動法人ACE

単位:円

科 目	2014予算	2014決算			決算差異	達成率
		本体	世界の子ども権利基金	合計		
<b>I 経常収益</b>						
<b>1 受取会費</b>	<b>4,508,000</b>	<b>3,594,000</b>	<b>0</b>	<b>3,594,000</b>	<b>▲ 914,000</b>	<b>80%</b>
正会員受取会費	1,890,000	1,404,000		1,404,000	△ 486,000	74%
賛助会員受取会費	2,618,000	2,190,000		2,190,000	△ 428,000	84%
<b>2 受取寄付金</b>	<b>49,554,900</b>	<b>51,104,573</b>	<b>270,637</b>	<b>51,375,210</b>	<b>1,820,310</b>	<b>104%</b>
ACE111募金	17,967,400	21,474,577		21,474,577	3,507,177	120%
チョコ募金	23,987,500	21,700,891		21,700,891	△ 2,286,609	90%
コットン募金	7,600,000	7,887,605		7,887,605	287,605	104%
チャイルドフレンドリー募金	0	41,500		41,500	41,500	-
世界の子ども権利基金	0	0	270,637	270,637	270,637	-
<b>3 受取助成金等</b>	<b>9,150,000</b>	<b>4,656,290</b>	<b>0</b>	<b>4,656,290</b>	<b>△ 4,493,710</b>	<b>51%</b>
受取民間助成金	9,150,000	4,656,290		4,656,290	△ 4,493,710	51%
<b>4 事業収益</b>	<b>20,138,328</b>	<b>22,161,711</b>	<b>0</b>	<b>22,161,711</b>	<b>2,023,383</b>	<b>110%</b>
自主事業収益	20,138,328	22,161,711		22,161,711	2,023,383	110%
<b>5 その他収益</b>	<b>0</b>	<b>70,441</b>	<b>0</b>	<b>70,441</b>	<b>70,441</b>	<b>-</b>
受取利息	0	1,422		1,422	1,422	-
為替差益	0	63,609		63,609	63,609	-
雑収益	0	5,410		5,410	5,410	-
<b>経常収益計</b>	<b>83,351,228</b>	<b>81,587,015</b>	<b>270,637</b>	<b>81,857,652</b>	<b>△ 1,493,576</b>	<b>98%</b>
<b>II 経常費用</b>						
<b>1 事業費</b>						
<b>(1) 人件費</b>	<b>21,687,663</b>	<b>24,169,636</b>	<b>0</b>	<b>24,169,636</b>	<b>2,481,973</b>	<b>111%</b>
給料手当	18,251,359	19,786,218		19,786,218	1,534,859	108%
法定福利費	2,462,904	3,151,886		3,151,886	688,982	128%
通勤費	923,400	1,221,582		1,221,582	298,182	132%
福利厚生費	50,000	9,950		9,950	△ 40,050	20%
<b>(2) その他経費</b>	<b>42,563,642</b>	<b>42,312,854</b>	<b>0</b>	<b>42,312,854</b>	<b>△ 250,788</b>	<b>99%</b>
海外事業実施費	24,247,530	22,453,410		22,453,410	△ 1,794,120	93%
売上原価	4,686,030	5,938,045		5,938,045	1,252,015	127%
諸謝金	155,000	30,000		30,000	△ 125,000	19%
印刷製本費	1,078,170	660,249		660,249	△ 417,921	61%
旅費交通費	4,292,000	3,891,679		3,891,679	△ 400,321	91%
賃借料	789,700	389,671		389,671	△ 400,029	49%
外注費	1,588,950	2,422,159		2,422,159	833,209	152%
保険料	93,000	79,440		79,440	△ 13,560	85%
会議費	0	262,658		262,658	262,658	-
研修費	30,000	47,500		47,500	17,500	158%
諸会費	85,000	140,000		140,000	55,000	165%
広報広告費	0	362,820		362,820	362,820	-
通信費	492,450	365,533		365,533	△ 126,917	74%
荷造運賃	1,140,000	991,969		991,969	△ 148,031	87%
図書研究費	0	3,500		3,500	3,500	-
消耗品費	199,500	483,203		483,203	283,703	242%
什器備品費	100,000	0		0	△ 100,000	0%
水道光熱費	350,000	396,581		396,581	46,581	113%
地代家賃	2,571,430	2,577,451		2,577,451	6,021	100%
租税公課	614,882	658,200		658,200	43,318	107%
支払手数料	0	154,062		154,062	154,062	-
雑費	50,000	4,724		4,724	△ 45,276	9%
<b>事業費計</b>	<b>64,251,305</b>	<b>66,482,490</b>	<b>0</b>	<b>66,482,490</b>	<b>2,231,185</b>	<b>103%</b>



2014年度 活動計算書（続き）

（2014年9月1日～2015年8月31日）

特定非営利活動法人ACE  
単位：円

科 目	2014予算	2014決算			決算差異	達成率
		本体	世界の子ども の権利基金	合計		
<b>2 管理費</b>						
<b>(1)人件費</b>	<b>10,151,562</b>	<b>7,060,567</b>		<b>7,060,567</b>	<b>△ 3,090,995</b>	<b>70%</b>
役員報酬	0	0		0	0	-
給料手当	8,121,532	5,699,390		5,699,390	△ 2,422,142	70%
法定福利費	1,175,030	999,544		999,544	△ 175,486	85%
通勤費	825,000	341,913		341,913	△ 483,087	41%
福利厚生費	30,000	19,720		19,720	△ 10,280	66%
<b>(2)その他経費</b>	<b>5,581,659</b>	<b>4,106,675</b>		<b>4,106,675</b>	<b>△ 1,474,984</b>	<b>74%</b>
諸謝金	718,500	270,000		270,000	△ 448,500	38%
印刷製本費	835,616	384,315		384,315	△ 451,301	46%
旅費交通費	270,000	36,556		36,556	△ 233,444	14%
賃貸料	107,940	67,347		67,347	△ 40,593	62%
外注費	420,000	325,011		325,011	△ 94,989	77%
保険料	1,000	5,000		5,000	4,000	500%
会議費	50,000	136,131		136,131	86,131	272%
研修費	30,000	2,160		2,160	△ 27,840	7%
諸会費	97,200	109,200		109,200	12,000	112%
通信費	111,430	67,141		67,141	△ 44,289	60%
荷造運賃	507,432	492,409		492,409	△ 15,023	97%
図書研究費	20,000	0		0	△ 20,000	0%
修繕費	20,000	0		0	△ 20,000	0%
消耗品費	200,000	116,082		116,082	△ 83,918	58%
什器備品費	450,000	399,772		399,772	△ 50,228	89%
水道光熱費	70,000	114,011		114,011	44,011	163%
地代家賃	771,429	740,980		740,980	△ 30,449	96%
租税公課	73,000	2,700		2,700	△ 70,300	4%
支払手数料	828,112	805,190		805,190	△ 22,922	97%
減価償却費	0	22,670		22,670	22,670	-
管理諸費	0	10,000		10,000	10,000	-
為替差損	0	0		0	0	-
雑費	0	0		0	0	-
<b>管理費計</b>	<b>15,733,221</b>	<b>11,167,242</b>	<b>0</b>	<b>11,167,242</b>	<b>△ 4,565,979</b>	<b>71%</b>
<b>経常費用計</b>	<b>79,984,526</b>	<b>77,649,732</b>	<b>0</b>	<b>77,649,732</b>	<b>△ 2,334,794</b>	<b>97%</b>
<input type="checkbox"/> 税引前当期正味財産増減額	3,366,702	3,937,283	270,637	4,207,920	841,218	
法人税、住民税および事業税		70,000		70,000		
当期正味財産増減額				4,137,920		
前期繰越正味財産額	6,761,202			6,761,202		
<input type="checkbox"/> 次期繰越正味財産額	10,127,904			10,899,122		108%

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2015年8月31日現在

特定非営利活動法人ACE

I 資産の部

(単位：円)

科 目	金 額
1 流動資産	14,488,995
現金・預金	12,187,108
現金	412,659
外貨	19,474
普通預金	11,367,442
郵便振替	387,533
売上債権	941,102
売掛金	941,102
棚卸資産	1,185,378
その他流動資産	175,407
前払費用	131,682
立替金	43,725
2 固定資産	1,313,084
建物附属設備	113,083
車両運搬具	1
敷金	1,200,000
資 産 合 計	15,802,079

II 負債の部

科 目	金 額
1 流動負債	1,302,957
未払金	399,731
前受金	52,100
預り金	124,426
未払法人税等	70,000
未払消費税	656,700
2 固定負債	3,600,000
預託金	3,600,000
負 債 合 計	4,902,957

III 正味財産の部

科 目	金 額
正味財産合計	10,899,122
前期繰越正味財産	6,761,202
当期正味財産増減額	4,137,920
負債及び正味財産合計	15,802,079

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2015年8月31日現在

特定非営利活動法人ACE

I 資産の部 (単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	14,488,995
現金・預金	12,187,108
現金	412,659
外貨	19,474
三菱東京UFJ銀行 上野支店	6,286,657
三菱東京UFJ銀行 上野支店	488,888
三菱東京UFJ銀行 上野中央支店	3,208,949
三井住友銀行 上野支店	197,821
三井住友銀行 上野支店	936,763
三井住友銀行 上野支店	248,364
郵便振替口座 下谷神社前郵便局	387,533
売上債権	941,102
売掛金	941,102
棚卸資産	1,185,378
その他流動資産	175,407
前払費用	131,682
立替金	43,725
2 固定資産	1,313,084
建物附属設備	113,083
車両運搬具	1
敷金	1,200,000
資 産 合 計	15,802,079
II 負債の部	
科 目	金 額
1 流動負債	1,302,957
未払金	399,731
前受金	52,100
預り金	124,426
給与源泉	79,300
報酬源泉	18,738
その他補助	26,388
未払法人税等	70,000
未払消費税	656,700
2 固定負債	3,600,000
預託金	3,600,000
負 債 合 計	4,902,957
正 味 財 産 合 計	10,899,122

## 2014年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人ACE

### 1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産：定率法
- (3) 引当金の計上基準  
引当金の計上はありません。
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理  
施設の提供等の物的サービスに関する会計上の計上はありません。
- (5) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込経理によっています。

### 2 事業別損益の状況

右記参照

### 3 用途等が制約された寄附金等の内訳

用途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。  
当法人の正味財産は10,899,122円ですが、そのうち529,794円は、下記のように用途が特定されています。  
したがって用途が制約されていない正味財産は10,369,328円です。

（単位：円）

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
<b>寄付金</b>					
チョコ募金	0	21,700,891	21,700,891	0	スマイル・ガーナ プロジェクトに充当
コットン募金	0	7,887,605	7,887,605	0	ピース・インド プロジェクトに充当
チャイルドフレンドリー募金	0	41,500	41,500	0	ガーナとインドの事業に充当
東日本大震災復興応援募金	238,256	0	108,462	129,794	震災復興支援活動に充当
<b>助成金</b>					
庭野平和財団	787,311	0	787,311	0	新コットン教材開発に充当
パナソニックNPOサポートfor アフリカ	525,136	0	525,136	0	新チョコレート教材開発に充当
連合愛のカンパ	0	1,350,000	1,350,000	0	ピース・インド プロジェクトに充当
セールスフォースドットコム	0	100,000	100,000	0	チョコ教材製作費に充当
MDRT FOUNDATION	0	200,000	0	200,000	映画『バレンタイン〜掬』DVD製作充当予定
花王ハートポケット倶楽部	0	1,000,000	1,000,000	0	ピース・インド プロジェクトに充当
日興AM	0	234,880	234,880	0	「しあわせへのチョコレート」プロジェクトに充当
住友商事㈱	0	200,000	0	200,000	映画『バレンタイン〜掬』DVD製作充当予定
東京都中小企業ワークライフバランス推 進助成金	0	271,000	271,000	0	ワークライフバランス推進活動に充当
リコーFreeWill	0	300,000	300,000	0	スマイル・ガーナ プロジェクトに充当
セールスフォースドットコム	0	120,000	120,000	0	ドリームフォース2015渡航費に充当
地球環境基金	0	985,000	985,000	0	新コットン教材普及活動に充当
合計	1,550,703	34,390,876	35,411,785	529,794	

### 4 固定資産の増減内訳

（単位：円）

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
<b>有形固定資産</b>						
建物附属設備	341,250	0	0	341,250	228,167	113,083
車両運搬具	2,875,376	0	0	2,875,376	2,875,375	1
<b>投資その他の資産</b>						
敷金	1,200,000	0	0	1,200,000	0	1,200,000
合計	4,416,626	0	0	4,416,626	3,103,542	1,313,084

### 5 借入金を増減内訳

（単位：円）

科目	期首残高	当期借入	当期減少	期末残高
会員からの預託金	3,850,000	0	250,000	3,600,000
合計	3,850,000	0	250,000	3,600,000

### 6 役員及びその近親者との取引の内容

（単位：円）

科目	財務諸表に 計上された金額	左の内役員及び 近親者等の取引
(4活動計算書) 受取寄付金	51,125,210	1,160,000

### 7 その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

#### ・事業費と管理費の按分方法

賃貸料、通信費、消耗品費、水道光熱費、地代家賃を、人件費と同じ割合で按分

2. 事業別損益の状況（2014年度 2014年9月1日～2015年8月31日）

	子ども支援事業	アドボカシー事業	啓発・市民参加事業	ソーシャルビジネス推進事業	事業部門計	管理部門	権利基金	合計
<b>【経常収益】</b>								
<b>1. 受取会費</b>								
正会員受取会費	0	0	0	0	0	1,404,000	0	1,404,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	2,190,000	0	2,190,000
<b>受取会費 計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3,594,000</b>	<b>0</b>	<b>3,594,000</b>
<b>2. 受取寄付金</b>								
ACE111募金	0	0	0	0	0	21,474,577	0	21,474,577
チョコ募金	17,360,713	0	0	0	17,360,713	4,340,178	0	21,700,891
コットン募金	6,310,084	0	0	0	6,310,084	1,577,521	0	7,887,605
チャイルドフレンドリー募金	33,200	0	0	0	33,200	8,300	0	41,500
世界の子ども権利基金	0	0	0	0	0	0	270,637	270,637
<b>受取寄付金 計</b>	<b>23,703,997</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>23,703,997</b>	<b>27,400,576</b>	<b>270,637</b>	<b>51,375,210</b>
<b>3. 受取助成金等</b>								
受取助成金	2,884,880	1,380,410	0	0	4,265,290	391,000	0	4,656,290
<b>受取助成金等 計</b>	<b>2,884,880</b>	<b>1,380,410</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4,265,290</b>	<b>391,000</b>	<b>0</b>	<b>4,656,290</b>
<b>4. 事業収益</b>								
参加費収益	0	160,650	255,000	991,270	1,406,920	0	0	1,406,920
講師謝金収益	100,000	2,611,064	50,000	601,300	3,362,364	0	0	3,362,364
委託業務収益	0	911,000	120,000	1,515,546	2,546,546	0	0	2,546,546
貸出収益	0	152,660	0	0	152,660	0	0	152,660
広報収益	0	93,896	0	0	93,896	0	0	93,896
映画配給収益	0	403,600	0	0	403,600	0	0	403,600
教材販売	0	2,334,368	0	0	2,334,368	0	0	2,334,368
書籍販売収益	0	458,619	0	0	458,619	0	0	458,619
物品販売収益	0	0	10,587,953	0	10,587,953	0	0	10,587,953
交通費収益	28,860	265,538	111,175	29,420	434,993	0	0	434,993
送料収益	0	92,507	287,285	0	379,792	0	0	379,792
<b>事業収益 計</b>	<b>128,860</b>	<b>7,483,902</b>	<b>11,411,413</b>	<b>3,137,536</b>	<b>22,161,711</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>22,161,711</b>
<b>5. その他収益</b>								
受取 利息	0	0	0	0	0	1,422	0	1,422
為替 差益	0	0	0	0	0	63,609	0	63,609
雑 収 益	0	90	0	0	90	5,320	0	5,410
<b>その他収益 計</b>	<b>0</b>	<b>90</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>90</b>	<b>70,351</b>	<b>0</b>	<b>70,441</b>
<b>経常収益 計</b>	<b>26,717,737</b>	<b>8,864,402</b>	<b>11,411,413</b>	<b>3,137,536</b>	<b>50,131,088</b>	<b>31,455,927</b>	<b>270,637</b>	<b>81,857,652</b>
<b>【経常費用】</b>								
<b>(1) 人件費</b>								
給料手当	6,914,841	4,471,278	4,893,520	3,506,579	19,786,218	5,699,390	0	25,485,608
法定福利費	1,195,080	643,712	731,585	581,509	3,151,886	999,544	0	4,151,430
通勤費	330,550	196,021	478,600	216,411	1,221,582	341,913	0	1,563,495
福利厚生費	0	0	0	9,950	9,950	19,720	0	29,670
<b>人件費計</b>	<b>8,440,471</b>	<b>5,311,011</b>	<b>6,103,705</b>	<b>4,314,449</b>	<b>24,169,636</b>	<b>7,060,567</b>	<b>0</b>	<b>31,230,203</b>
<b>(2) その他経費</b>								
海外事業実施費	22,453,410	0	0	0	22,453,410	0	0	22,453,410
売上原価	0	738,204	5,598,948	0	6,337,152	0	0	6,337,152
諸謝金	0	0	30,000	0	30,000	270,000	0	300,000
印刷製本費	91,231	159,881	397,736	11,401	660,249	384,315	0	1,044,564
旅費交通費	1,635,620	897,405	570,076	788,578	3,891,679	36,556	0	3,928,235
貸借料	81,603	74,996	191,770	41,302	389,671	67,347	0	457,018
外注費	22,274	989,919	1,409,966	0	2,422,159	325,011	0	2,747,170
保険料	61,720	5,600	0	12,120	79,440	5,000	0	84,440
会議費	87,849	36,670	121,174	16,965	262,658	136,131	0	398,789
研修費	17,500	17,000	12,000	1,000	47,500	2,160	0	49,660
諸会費	0	65,000	30,000	45,000	140,000	109,200	0	249,200
広報広告費	0	355,320	7,500	0	362,820	0	0	362,820
通信費	141,215	83,041	100,102	41,175	365,533	67,141	0	432,674
荷造運賃	1,550	0	990,419	0	991,969	492,409	0	1,484,378
図書研究費	3,500	0	0	0	3,500	0	0	3,500
消耗品費	140,657	92,036	156,793	93,717	483,203	116,082	0	599,285
什器備品費	0	0	0	0	0	399,772	0	399,772
水道光熱費	138,147	90,394	98,120	69,920	396,581	114,011	0	510,592
地代家賃	897,841	587,488	637,700	454,422	2,577,451	740,980	0	3,318,431
租税公課	3,818	221,764	339,196	93,422	658,200	2,700	0	660,900
支払手数料	92,404	8,008	52,300	1,350	154,062	805,190	0	959,252
減価償却費	0	0	0	0	0	22,670	0	22,670
管理諸費	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000
雑費	0	0	4,724	0	4,724	0	0	4,724
<b>その他経費計</b>	<b>25,870,339</b>	<b>4,422,726</b>	<b>10,748,524</b>	<b>1,271,265</b>	<b>42,312,854</b>	<b>4,106,675</b>	<b>0</b>	<b>46,419,529</b>
<b>事業費 計</b>	<b>34,310,810</b>	<b>9,733,737</b>	<b>16,852,229</b>	<b>5,585,714</b>	<b>66,482,490</b>	<b>11,167,242</b>	<b>0</b>	<b>77,649,732</b>
<b>経常費用 計</b>	<b>34,310,810</b>	<b>9,733,737</b>	<b>16,852,229</b>	<b>5,585,714</b>	<b>66,482,490</b>	<b>11,167,242</b>	<b>0</b>	<b>77,649,732</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>▲ 7,593,073</b>	<b>▲ 869,335</b>	<b>▲ 5,440,816</b>	<b>▲ 2,448,178</b>	<b>▲ 16,351,402</b>	<b>20,288,685</b>	<b>270,637</b>	<b>4,207,920</b>

# 監査報告書

2015年10月26日

特定非営利活動法人 ACE

代表 岩附 由香 殿

特定非営利活動法人 ACE

監事 大石 貴子 

監事 矢崎 芽生 

特定非営利活動法人 ACE 定款第 15 条第 4 項の規定に基づき、2014 年度における理事の業務執行の状況及び財産状況について監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

以上

## <講師派遣実績>

【講師派遣件数】 79 件、6,168 人参加

実施日	イベント・セミナー・講演タイトル	主催	都道府県
2014/9/2	ワークショップ「この T シャツはどこからくるの？」	東京大学教育学部附属中等教育学校	東京都
2014/9/5	「子どもの権利」	経済人コー円卓会議日本委員会	東京都
2014/9/9	人権の視点からフェアトレードについて学ぶ	株式会社日立製作所	大阪府
2014/9/11	青山学院短期大学「YOUPLID」	特定非営利活動法人ジーエルエム・インスティテュート	東京都
2014/9/20	3 年課題研究「ソーシャルビジネス」	東京都千早高等学校	東京都
2014/9/22	ユースフォーラム助成金中間報告会	住友商事株式会社	宮城県
2014/9/25	【実践例報告②】問題認識力・考える力をはぐくむ授業の実践—児童労働の問題から—	独立行政法人国民生活センター	東京都
2014/10/1	家庭科教育法③	鎌倉女子大学	神奈川県
2014/10/14	世界の 12 歳	立川市市立柏小学校	東京都
2014/10/15	「児童労働をなくすためにできること」 フェアトレードを理解し消費者主権を考える	長野県小諸高等学校	長野県
2014/10/15	国際協力 NGO と ACE 活動について	日本労働組合総連合会	東京都
2014/10/27	企業と NPO の連携を通じた児童労働問題解決	早稲田ビジネスネット横浜稲門会	神奈川県
2014/10/29	地球環境基金 第 2 回若手プロジェクトリーダー研修	独立行政法人環境再生保全機構	神奈川県
2014/11/1	東京チョコレートサロン 2014「ガーナカカオを通じた児童労働撲滅の取り組み」	株式会社立花商店	東京都
2014/11/5	共に学ぶ	桐朋女子中・高等学校	東京都
2014/11/7	人権 CSR セミナー: 児童労働×紛争鉱物	大阪経済法科大学	大阪府
2014/11/8	アースミュージアム pj「エシカルファッションで社会を変える」講演「コットン生産での児童労働と私たちとのつながり」	東海大学	神奈川県
2014/11/12	てんとう虫チョコ包装ボランティア 講演	三井住友銀行	東京都
2014/11/13	総合的な学習の時間「世界の子どもと児童労働、それに取り組む人」	仙台市立向山小学校	宮城県
2014/11/13	「遊ぶ、学ぶ、笑う。そんなあたりまえを、世界の子どもたちに」～ACE(エース)の取り組みのご紹介	国際ソロプチミスト仙台	宮城県
2014/11/13	「子どもの貧困とグローバル教育」	宇都宮大学	栃木県
2014/11/13	NPO/NGO 論(外国語学部上級専門科目)	麗澤大学	千葉県
2014/11/14	遊ぶ、学ぶ、笑う。そんなあたりまえを、世界の子どもたちに。～世界の児童労働とわたしたちにできること	宮城学院中学校・高等学校	宮城県

実施日	イベント・セミナー・講演タイトル	主催	都道府県
2014/11/16	チョコレートと児童労働	町田市教育委員会	東京都
2014/11/16	SOIF-大人の寄付遊び Vol.7「世界の子どもを守る」	SOIF-日本の寄付文化に風穴をあける大人の遊び	東京都
2014/11/26	「CSR・監査論」人権・労働から考える企業の社会的責任(CSR)	宮城大学	宮城県
2014/11/26	人権教育	横浜市立鳥が丘小学校	神奈川県
2014/11/29	NPO 法人 ACE の児童労働撲滅の取組み～これからの社会貢献活動と労働組合に期待すること～	全国労済労働組合連合会(労済労連)	東京都
2014/12/2	法学部「国際キャリア養成講座」国際協力NGOという仕事～児童労働のない世界の実現のために、私たちにできること	明治学院大学	東京都
2014/12/3	公共経営学特別講義 B	明治大学	東京都
2014/12/5	ガーナのカカオ栽培と児童労働	上尾市立大石中学校	埼玉県
2014/12/9	実行者が語るクラウドファンディング成功術	READYFOR 株式会社	東京都
2014/12/9	サプライチェーンの CSR 最新動向セミナー	ロイドレジスター クオリティアシユアランス リミテッド	神奈川県
2014/12/9	導入演習	中央大学	東京都
2014/12/13	PTA 向け映画『バレンタインー揆』上映	墨東・葛飾ブロック都立高校 PTA 会長会	東京都
2014/12/19	FTCJ イベント	特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	東京都
2014/12/22	奉仕～児童労働をなくすためにできること～	都立成瀬高等学校	東京都
2014/12/27	インドから届くコットン畑における児童労働の話	杉並区西倫理法人会	東京都
2015/1/15	【実践例報告②】問題認識力・考える力をはぐくむ授業の実践—児童労働の問題から—	独立行政法人国民生活センター	東京都
2015/1/18	「はままつ消費者教育フェア」ワークショップ&映画上映	浜松市	静岡県
2015/1/24	国際文化フォーラム in 逗子 講演会「私の暮らしとつながっている児童労働」	逗子フェアトレードタウンの会	神奈川県
2015/1/25	ACE × Kowa × SOU フェアトレード・コットン・ワークショップ&トーク	フェアトレード名古屋ネットワーク FTNN	愛知県
2015/1/26	ACE × 森永フェアトレードチョコレート発売記念トークイベント「フェアトレードチョコ誕生の舞台裏」	ACE 福岡グループ	福岡県
2015/1/26	「差別のない明るい未来を～子どもたちを取り巻く人権問題から考える～」【公開講座】遠い国の問題!?子どもの権利と児童労働	名古屋市役所	愛知県
2015/1/27	「遊ぶ、学ぶ、笑う。そんなあたりまえを、世界の子どもたちに」	福岡黒田ライオンズクラブ	福岡県



実施日	イベント・セミナー・講演タイトル	主催	都道府県
2015/2/1	ACE仙台グループ報告会「ノーベル平和賞受賞者カイヤシユさんとACE」	ACE 仙台グループ	宮城県
2015/2/6	第1回中央委員会	アシックス労働組合	兵庫県
2015/2/11	映画『バレンタイン－揆』上映会	公益財団法人豊田市国際交流協会	愛知県
2015/2/12	人権教育(生き方、在り方教育)	埼玉県立朝霞高等学校	埼玉県
2015/2/14	<ファンドレイジング・日本 2015> 「企業とパートナーシップを組んで成長する秘訣」	特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会	東京都
2015/2/14	映画『バレンタイン－揆』上映&出演者トーク	石巻市子どもセンター	宮城県
2015/2/14	平成 26 年度 東京都と東京都生協連との消費者教育推進事業『ブラッシュアップ！消費者市民力』in 千代田区	東京都生活協同組合連合会	東京都
2015/2/27	もっと知ろう 世界の子どものこと	東京都青梅市立藤橋小学校	東京都
2015/3/9	アフリカとカカオ豆生産(社会科地理授業)	桐朋女子中・高等学校	東京都
2015/3/13	第 53 回全国消費者大会 消費者政策分科会	第 53 回全国消費者大会実行委員会	東京都
2015/3/20	「ピース・インド プロジェクト」報告会	特定非営利活動法人 WE21 ジャパンほどがや	神奈川県
2015/4/17	ピーター・ピオット回想録出版記念セミナー	公益財団法人日本国際交流センター(JCIE)	東京都
2015/4/18	児童労働撲滅スタディツアー 事前学習会	NTT 労働組合 中央本部	東京都
2015/4/22	国際協力と NGO	東海大学	神奈川県
2015/5/16	オシャレが地球を救う？～素敵なコットンの選び方～	公益財団法人愛知県国際交流協会	愛知県
2015/5/22	市民が関わる国際協力 児童労働のない未来をめざして	上智大学	東京都
2015/5/22	香川大学「国際協力論」	公益社団法人セカンドハンド	香川県
2015/5/27	自己革新セミナー	株式会社ファンケル	東京都
2015/6/10	総合的な学習の時間 特別講座「国際協力の現場から」	アレセア湘南中学校・高等学校	神奈川県
2015/6/10	児童労働撤廃に向けた 政治的意志をつくるには？	霞が関ナレッジスクエア	東京都
2015/6/11	Impact Day	ニールセン株式会社	東京都
2015/6/17	気軽にトーク CAFE@地球ひろば Vol.3: ストップ！児童労働	JICA 地球ひろば	東京都
2015/7/4	国際交流の日「おいしいチョコレートの真実」	町田市立真光寺中学校	東京都
2015/7/14	キャリア持論	お茶の水女子大学	東京都
2015/7/23	平成 27 年度 教職員等消費者教育セミナー	栃木県	栃木県
2015/7/25	講義「インドの児童労働と教育」	新潟大学	新潟県
2015/7/25	地区・社会・国際奉仕委員会セミナー	国際ロータリー第 2780 地区社会・国際奉仕委員会	神奈川県

実施日	イベント・セミナー・講演タイトル	主催	都道府県
2015/7/27	平成 27 年度 教職員等消費者教育セミナー	埼玉県消費生活支援センター	埼玉県
2015/8/3	平成 27 年度 消費者教育に携わる講師養成講座	独立行政法人国民生活センター	東京都
2015/8/7	宮城学院中学校・高等学校	宮城学院中学校・高等学校	宮城県
2015/8/16	夏休み中高生向けワークショップ「この T シャツはどこからくるの？」	JICA 地球ひろば	東京都
2015/8/19	教員のための消費者教育講座	東京都消費生活総合センター	東京都
2015/8/19	「子どもと開発」	桜美林大学	東京都
2015/8/29	国際キャリア合宿セミナー2015「国際キャリア開発」	大学コンソーシアムとちぎ	栃木県

## <メディア掲載実績>

【メディア掲載件数】 61 (テレビ 4、ラジオ 2、新聞 32、雑誌:9、機関紙 8、ウェブ 6)

掲載日	掲載メディア	タイトル・内容
2014/9/11	寝装リビングタイムス	第 3 回セミナー開催 サプライチェーンの課題喚起
2014/9/25	mom(モム)	エシカルファッションカレッジを体験
2014/10/2	毎日新聞(オピニオン「発言」)	広がるエシカル消費
2014/10/11	テレビ朝日「報道ステーション」	ノーベル平和賞受賞
2014/10/11	朝日新聞(国際:13 面)	マララさんらノーベル平和賞
2014/10/11	神奈川新聞(総合:3 面)	児童労働、搾取と闘う
2014/10/11	毎日新聞(国際:9 面)	子供の権利貫く、児童労働の認知に
2014/10/11	毎日新聞(総合:2 面)	若い世代に教育を
2014/10/11	東京新聞(社会:29 面)	児童労働に関心持って
2014/10/11	毎日新聞(26 面)	「日本で関心高まれば」、国内 NPO メンバー「心強い」
2014/10/11	河北新報(社会:26 面)	サトヤルティさんも受賞 子どもへ深い愛 たびたび来日 デモや講演 搾取根絶アピール
2014/10/11	四国新聞(総合:3 面)	サトヤルティさん「子どもに教育を」たびたび来日、問題訴え
2014/10/16	オルタナ S	ノーベル平和賞のカイラシュ氏と、日本の児童労働問題 NGO の運命的な出会い
2014/10/16	Yahoo!ニュース	ノーベル平和賞のカイラシュ氏と、日本の児童労働問題 NGO の運命的な出会い
2014/10/16	NHK 高校講座「家庭総合」	第 22 回 経済生活 「買う」ことで社会を変える
2014/10/16	NHK 解説委員室「くらし解説」	平和賞 児童労働をなくすために
2014/10/17	NHK BS「キャッチ！世界の視点」	特集「ノーベル平和賞 児童労働をなくすために」
2015/1/1	veggy	全国各地で「もうひとつのチョコレート展」開催
2015/1/1	マイ ECO	チョコレートから見える真実
2015/1/25	建設労働のひろば	トピックス/レポート「世界の子ども 9 人に 1 人が児童労働」
2015/1/29	毎日新聞(13 面)	第3回エクセレント NPO 大賞
2015/1/29	毎日小学生新聞(1 面)	児童労働のない社会へ
2015/2/1	NGO 福岡ネットワーク機関紙国際 協力ニュース(4 ページ)	「私が NGO に関わる理由」
2015/2/1	NGO 福岡ネットワーク機関紙国際 協力ニュース(6 ページ)	【報告】ACE × 森永フェアトレードチョコ発売記念トークイベント “フェアトレードチョコ誕生の舞台裏”
2015/2/1	こどもの本	学校に行きたい！～世界の働かされる子どもたち～
2015/2/1	ボランティア情報	プチわたしの履歴書
2015/2/2	毎日小学生新聞(5 面)	チョコレートの原産国
2015/2/6	毎日新聞(19 面)	カカオの生産地 森林減少 児童労働
2015/2/10	西日本新聞(生活:25 面)	「フェアトレード」選んで
2015/2/12	中日新聞	「映画で児童労働根絶」豊田 上映会、観客に訴える
2015/2/13	毎日小学生新聞(2 面)	今ドキバレンタイン大作戦

掲載日	掲載メディア	タイトル・内容
2015/2/14	日本農業新聞(1面)	四季
2015/2/14	RKB ラジオ	「あべちゃんトシ坊！こりない二人の Oh!キューツ倶楽部」
2015/2/15	毎日新聞(オピニオン:5面)	発展途上国の子供を救おう
2015/2/15	信濃毎日新聞	斜面(一面コラム欄)
2015/3/1	ソトコト	チョコレートを通じて児童労働について考えよう。
2015/3/1	こどもの本	学校に行きたい！～世界の働かされる子どもたち～
2015/3/14	読売新聞(夕刊)	ライブラリー「夢や希望を与える教育の力」
2015/3/15	中日新聞	小中学生「児童労働の苦い現実」
2015/3/19	東京新聞	しみん発「児童労働をなくそう」
2015/3/28	ヴァンサンカン	5月号「プレゼントコーナー」
2015/3/29	毎日新聞	学びフェス 親子連れ出前授業に参加
2015/3/30	毎日メディアカフェ	学びフェス 親子連れ出前授業に参加/東京
2015/3/31	時事通信社(ブックエンド欄)	貧困や児童労働の入門書
2015/3/31	日本ファンデレイジング協会	寄付～お金や物品に思いを託す～
2015/4/1	食べもの通信	世界中から児童労働をなくすために
2015/4/2	毎日新聞	児童労働 なくそう
2015/4/20	読売新聞	「エシカルファッション」紹介イベント
2015/4/28	朝日新聞(生活:30面)	途上国製品はいかが ～来月9日世界フェアトレードデー～
2015/5/1	東京都北区 NPO・ボランティアプラザ通信	イベント情報
2015/5/8	時事通信社(ブックエンド欄)	「子どもたちにしあわせを運ぶチョコレート。」
2015/5/8	エフエム富士	『Good Day』トレンドセッター
2015/5/12	織研新聞(総合:2面)	「2日間に拡大し開催-エシカルファッションカレッジ」
2015/5/16	NTT 労組(3面)	「児童労働」の基礎学び参加者間の交流深める
2015/6/11	東京新聞	しみん発「児童労働反対世界デー記念セミナー」
2015/6/15	季刊労働法	特集:児童労働の廃絶に向けて「児童労働を取り巻く危機と今わたしたちにできること」
2015/6/27	ヴァンサンカン	8月号「私たちとチャリティ」
2015/6/28	東京新聞	サンデー版「児童労働」
2015/7/8	日経エコロジー	NGO、社会起業家 共に創る新ビジネス 第11回「責任ある調達」を支え児童労働のない社会をつくる
2015/7/18	Be inspired!	「頭の良い人」は、億万長者になれない。
2015/8/13	織研新聞(企画:6面)	若い世代の社会貢献意識高まる

## <参加しているネットワーク一覧>

1. 東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN) (メンバー)
2. なくそう！子どもの貧困全国ネットワーク(メンバー)
3. 児童労働ネットワーク(運営委員・事務局)
4. チョコレート・アライアンス(コアメンバー)
5. 市民ネットワーク for TICAD(Afri-Can) (世話人)
6. 人身売買禁止ネットワーク(JANTIP) (メンバー)
7. 社会的責任に関する円卓会議(運営委員、「地球規模課題への参画」ワーキンググループメンバー)
8. 児童労働に反対するグローバルマーチ(ナショナルコーディネーター)
9. JANIC 広報ワーキンググループ(コアメンバー)
10. 開発教育協会(DEAR) (会員、評議員)
11. 動く・動かす(会員)
12. NGO-労働組合国際協働フォーラム(合同企画委員、児童労働グループ事務局)
13. NGO 福岡ネットワーク(FUNN)
14. NGO と企業の連携推進ネットワーク(メンバー)
15. CSR レビューフォーラム(レビュアー)
16. 社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク(会員)
17. 日本エシカル推進協議会(設立発起人)
18. 国際協力 NGO センター(JANIC) (正会員)
19. 日本 NPO センター(会員)
20. Salesforce ユーザグループ(NPO 分科会 会長)
21. 持続可能な消費・グリーンコンシューマー全国ネットワーク

以上